

南海トラフ地震臨時情報とは

- ・南海トラフ沿いにおいて大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まっていると評価された場合、「南海トラフ地震臨時情報」の「巨大地震警戒」や「巨大地震注意」が発表されます。
- ・先発地震の後に、後発の大規模地震が発生する可能性について、世界の事例及び南海トラフ沿いの事例を参照すると、次の通りです。

1週間以内に大規模地震が発生する可能性

平常時

(地震調査委員会の長期評価によると、M8クラス以上の南海トラフ地震の発生可能性は、最も高いランクである「Ⅲランク」と評価されている)

約0.1%

(千回に1回程度)

臨時情報発表時

(地震発生の統計より)

(警戒の場合)

*世界で108事例中9事例

約10%

(十回に1回程度)

南海トラフにおいて、

事例あり

(1854年安政東海・南海地震)

(注意の場合)

*世界で1,529事例中19事例

約1%

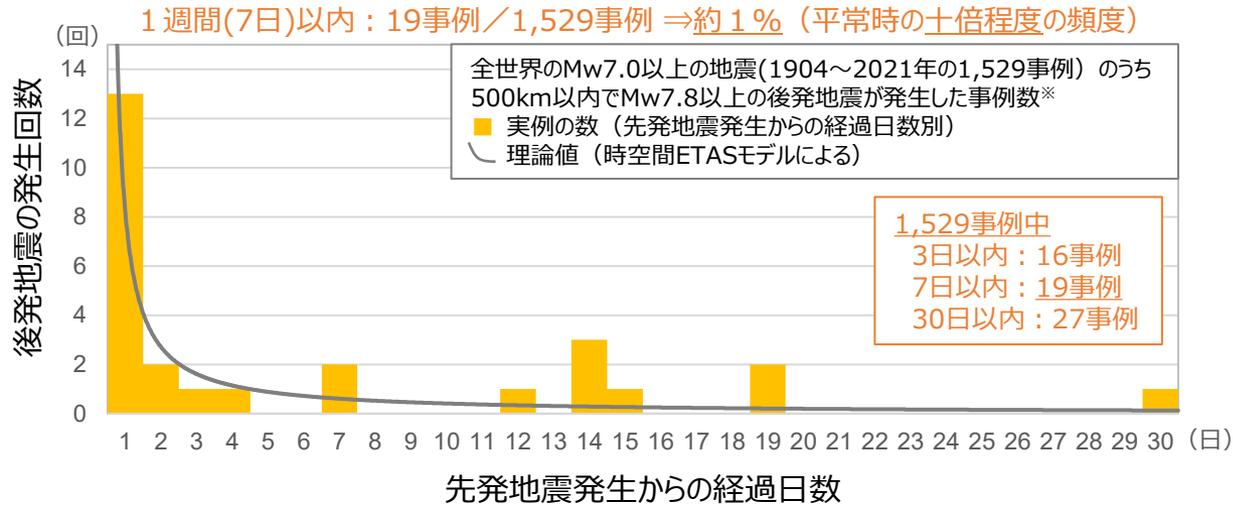
(百回に1回程度)

南海トラフにおいて、

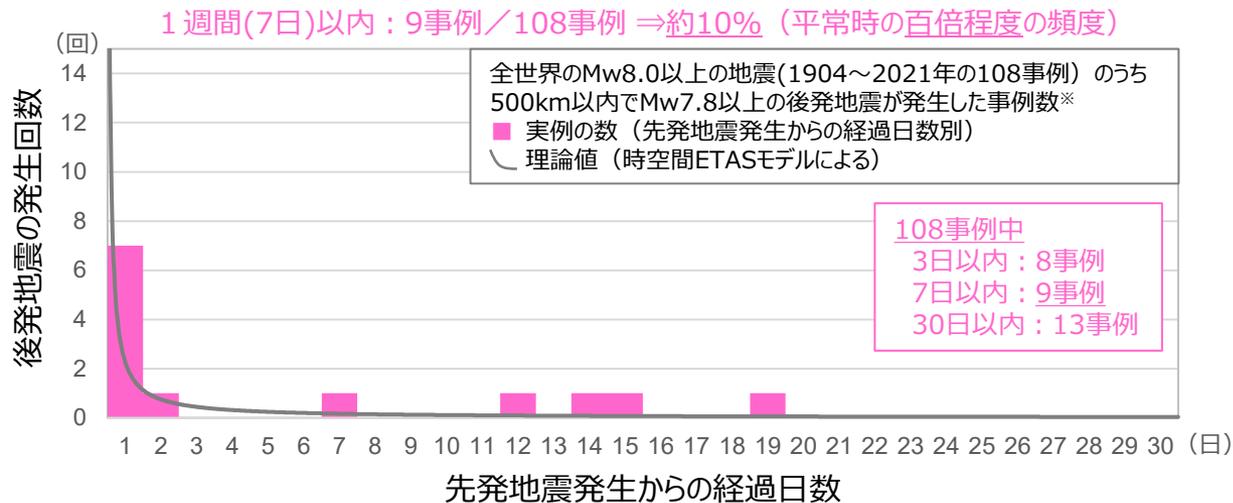
事例は確認されていない

(参考) 世界の地震発生統計に基づく大規模地震発生の可能性について

(a) Mw7.0以上の地震に続いて、Mw7.8(M8クラス)以上の地震が発生した事例の発生パターン



(b) Mw8.0以上の地震に続いて、Mw7.8(M8クラス)以上の地震が発生した事例の発生パターン



※ISC-GEM ver.12.0による。